

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020370

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	10 地域福祉の推進	事業優先度	B	
単位施策	3 地域の「たまり場」づくりの促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	福祉施設等整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	11 町有施設整備室	
事業指標	計画的な施設整備、整備調査件数		#N/A	
事業目標	施設整備8件、整備調査件数9件	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
全体計画 事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	福祉施設の適正な管理運営を行うための整備を行	音稲府地域住民センター改修工事  各施設の整備調査	幌内歴史と生活の家改修工事 幌内歴史と生活の家外壁等改修工事 開生福祉館備品購入 老人福祉施設等改修工事 (元沢木寿の家・日の出寿の家) 元沢木寿の家ストーブ購入 幌内歴史と生活の家床面防滑工事	栄丘福祉館ストーブ更新 各施設の整備調査	各施設の整備調査	豊丘・開生福祉館長机・イス更新 AEDの設置(1施設) 各施設の整備調査	
	事業費(千円)	38,477	22,575	14,782	344	0	776
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	38,477	22,575	14,782	344		776	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	36,339	22,155	13,912	272	0	0
	財源内訳						
	国庫支出金	2,231		2,231			
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	34,108	22,155	11,681	272			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) ・音稲府地域住民センター改修工事	(実施内容等) ・幌内歴史と生活の家改修工事 ・幌内歴史と生活の家外壁等改修工事 ・元沢木寿の家外部改修工事 ・日の出寿の家外壁改修工事 ・元沢木寿の家ストーブ購入 ・幌内歴史と生活の家床面防滑工事	(実施内容等) ・栄丘福祉館ストーブ更新	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	施設改修工事1件、整備調査件数9件	施設改修工事5件	整備調査件数7件	整備調査件数7件	施設備品更新2件、AED設置1件、整備調査件数7件
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	98%	94%	79%	#DIV/0!	0%
	全体達成率	58%	94%	94%	94%	94%	
	備考欄						

事業名	福祉施設等整備事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎佳之
		評価者 作成者 職氏名	社会福祉係	佐々木 広太郎

様式1  
平成28年度実施  
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	地域住民等の活動拠点施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	整備調査件数	
【抱える課題やニーズは】	施設及び備品の老朽化。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	活動拠点の整備、施設の延命化。	① 整備調査件数	目標年度	平成28年度
			目標値	7施設
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	地域住民活動の拠点施設を整備することにより利便性が向上するとともに地域住民の社会参加、生きがい活動が促進される。	②	実績値	7施設
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	各施設の整備調査	所管する施設の不具合箇所について点検を行った。	目標年度	平成28年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	地域住民の社会参加、生きがい活動の促進を図るため、拠点施設の整備は必要性が高い。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	施設の整備調査したことで地域住民の活動拠点の整備と施設の延命化が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	毎年の整備調査により、深刻な改修に至らずに済んだ。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	各施設は地域住民が広く利用できる施設であり、その整備、改修を行うことは公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
地域住民が安心して施設を利用できるよう計画的な整備調査に努めた。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
地域住民が安心して施設を利用できるように、各施設にて定期的に調査を行い、計画どおり事業を進めることが適当である。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止